



## 新年度の環境サロンが スタートしました

### 「環境サロン」とは？

環境サロンは、身近な環境問題などをテーマに、みんなで気軽に学びあえる場、語りあえる場です。本年度は3つのテーマで展開します。一度だけのご参加も大歓迎です。初めての方もぜひご気楽にご参加ください。

参加費…各回200円  
ところ…銀天エコプラザ  
問合せ…0836-39-8110 (銀天エコプラザ)

これまでの環境サロンをアーカイブでご覧いただけます。「環境サロン」でご検索いただくか、環境サロンのHPよりご覧ください。 <http://kankyo-salon.jp.org/>



## 第12回 まちなかエコ市場

～里山軽トラ市～

6月15日(日) 9:20～15:30

サッカーワールド  
カップ予選観戦  
イベントと  
同時開催です！

おなじみエコ教室や  
新鮮野菜などの里山軽トラ市！  
ダンスや音楽のステージ！

第2回  
7/3(木)  
18:30～20:30

### まちなか銀天おそうじ隊 募集！



「まちなか銀天おそうじ隊」は、月に一度、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードなどを掃除しています。メンバーはその日集まってくださった方。楽しくおしゃべりしながら、「まち」をちょっときれいにしませんか？  
次回は 6月29日(日) 15:00 から。  
まちなか環境学習館前に集合です。

おそうじ隊参加者には、  
環境地域通貨「エコハ券」2枚進呈！

### 低炭素のまちづくり

省エネ・再エネ、ごみのリサイクルなど、環境に配慮した低炭素のまちづくりについて考えましょう。

第1回  
6/18(水)  
18:30～20:30

「低炭素のまちづくり協議会のねらい」  
お話 鷗 心治 さん (山口大学理工学研究科教授)  
ワークショップ  
「市民がイメージする低炭素のまちづくり」  
ところ：まちなか環境学習館



### 里山の保全と再生

生物多様性応援団の活動に関連して、里山再生、定住促進、6次産業化など中山間地域への支援を活発にするにはどうしたらよいか、話し合います。

第1回  
6/26(木)  
18:30～20:30

ワークショップ  
「里山再生、あなたならどうする」  
司会 篠原 功 さん(生物多様性応援団)  
ところ：まちなか環境学習館

第2回  
7/10(木)  
18:30～20:30

「こども達の環境学習に関わってきて」  
お話 藤野完二 さん(環境カウンセラー)  
ところ：まちなか環境学習館



### 世代間・地域対話

世代間、あるいは地域間で、考えを異にする人たちとの本音の議論を通して、自分とは違う考え方を理解し、持続可能社会の担い手としてのこども達を育むための地域支援のありかたを考えましょう。

第2回  
7/3(木)  
18:30～20:30

「極北から学ぶ 人の多様性  
～山口の田舎で持続可能な暮らしをするために～」  
お話 洲澤育範 さん (El Coyote 1990 代表)  
ところ：まちなか環境学習館

宇部市まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」には、環境関連図書もある学習室(無料)、使いやすい料金のミーティングルーム(大・小)があります。ご利用、ご見学をお待ちしております。



### 宇部市環境学習ポータルサイト 「うべっくる」

うべっくる 検索

<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

※ まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、お気軽にお寄せください。ポータルサイト内のブログ、フェイスブックのコメント欄もご利用ください。

## 宇部山岳会

宇部山岳会は昭和24年(1949)に創立された社会人山岳会で、多種多彩な山行や地域の人たちとの深いかわり、社会人山岳会としての自覚と実践を基本に活動しています。

具体的には

- ・会員による多彩な山行
- ・市民ハイキング
- ・競技登山
- ・自然保護

を柱にして、アルパインクライミング、スポーツクライミング、沢登り、山スキー、里山ハイキングなど四季を通じた多彩な山行や年4回開催される市民ハイキング(うち1回は雪山ハイキング)、国体山岳競技への参加協力、ふるさとの山や自然環境を守る取り組みなど多種多様な活動を行っています。

会員は現在95名で、毎月第1水曜日に宇部市男女共同参画センター・フォーユーで月例会を開催しており、毎回愉快で個性的な仲間たちが山行の報告や計画について話し合

いを行っています。興味のある方は例会に参加されて雰囲気が入れば入会してはいかがですか。



槍ヶ岳山頂にて



平原岳市民ハイキング(山頂にて)

連絡先 宇部市中央町1丁目10-11  
宇部山岳会事務局(凡喫茶店内)  
Tel 0836-21-5250  
HP <http://www.c-able.ne.jp/~ube-alp1/>

環境歳時記 6月16日

### 『沈黙の春』連載始まる(1962年)

昭和47年市内の企業に入社間もない私は通勤の途上、今は無くなった会社近くの書店でふと目に留まった本があった。タイトルは『生と死の妙薬』訳:青樹築一(初版1964年)であった。

自然に恵まれた山野、田畑が広がり、果物が生い茂り、草木が風にたなびいているその中で鳥や昆虫そして野生動物が生き生きと過ごし、その鳴き声がここかしこから聞こえてくる。

そんなおとぎ話を思わせる環境がある時ひそかに忍び寄り白い粉に見舞われた。そして今年もやってきた春、しかしそこには聞こえてくるべき鳥や動物たちの声はなく、沈黙した春であった。そんな話から始まった。

本の著者はレイチェル・カーソン、1907年アメリカ合衆国のペンシルベニア州に生まれ、当初は作家を志していたがペンシルベニア女子大学で、生物学の授業を受けたことで生物学分野の科学者を志望するようになった。そしてジョンズ・ホプキンス大学大学院に進み、動物発生学で修士号

を取得し、その後アメリカ連邦漁業局・魚類野生生物局の公務員として海洋生物学に深くかかわるようになった。

生来の文学的な才能に恵まれていたカーソンは勤めの合間に執筆した著書『潮風の下で』(1941年、『われらをめぐる海』(1951年)、そして退職後に執筆した『海辺』(1955年)は海の3部作と呼ばれ、いずれもベストセラーとなった。

これらの著書のなかでレイチェル・カーソンは自然に対する深い愛と無限の興味を示し、自然の大切さを説いていた。

第二次世界大戦時、殺虫剤のDDTはシラミの駆除に特効薬として効果を示し多くの兵士が発疹チフスから命を救われ、戦後は農薬として大々的に使われ、また住宅地では蚊やハエの退治に安易に大量に使われていた。

1957年マサチューセッツ州に住むカーソンの友人のオルガ・ハキンズが所有する鳥類保護区に大量のDDTが撒かれ、無数の鳥たちが惨たらしい死に方をした。怒りにかられたハキンズはレイチェルに助けの手紙を書いた。

レイチェルは前々からこの農薬の負の側面を書かなければならないと常々考えて準備をしていた。そして1958年書き始めた。多くの人々が協力を申し出て大切な資料を

提供してもらいながら書き上げられた。書き上げられた『SILENT SPRING(沈黙の春)』は農薬、ひいては化学物質の安易な使用が私たちを取り巻く自然環境を大きく損ない取り返しのつかない被害をもたらすという最初の本格的な警告の本となった。

1962年6月12日「ニューヨーカー」誌に『沈黙の春』の連載の第一回が掲載された。そして同年9月「ホートン・ミフrint社」から単行本として出版された。単行本は発売以来2週間ほどでベストセラーとなった。

掲載が始まると化学薬品企業などを中心とした産業界、そして著名な化学者やの生化学者から激しいバッシングを受けることとなった。しかし、彼女の警告を真摯に受け止めたケネディ大統領が英断を下し、諮問委員会に調査を命じたことによって流れが変わった。

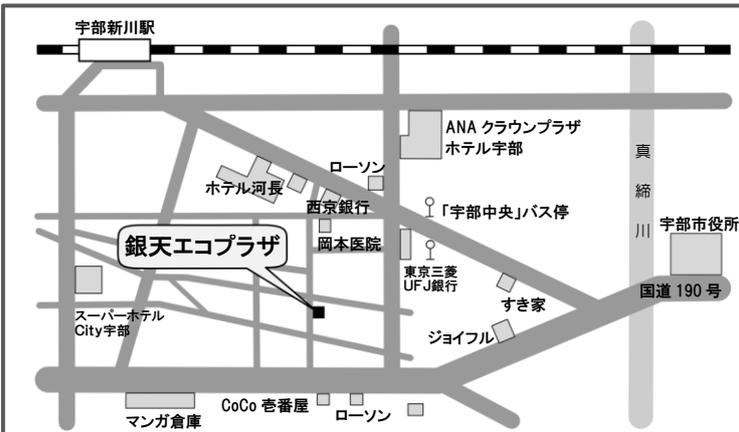
レイチェル・カーソンの『沈黙の春』はその後20数年が経ち、国語に翻訳し出版され自然の征服、科学技術への絶対的な信頼に対して警鐘を鳴らし続けている。



4階蔵書に (館長 西村誠)

レイチェル・カーソンの著作が並びます。

『沈黙の春』



### 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し(近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail [info@ubekuru.com](mailto:info@ubekuru.com)

開館時間 9時~21時

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)